

裕仁親王御成行啓年表稿 VI

岩 壁 義 光

本年表稿は、本誌六〇号に続く大正一五年一月から昭和元年二月二七日迄を対象とし、葉山御用邸附属邸における「踐祚ノ式」後の東京還幸までを掲載した。これをもって平成十六年度から連載した本年表稿を閉じる。なお、凡例は基本的に本誌五六号に拠るが、同五七号以降の前書きも参照願いたい。

この時期、裕仁親王は摂政として基本的に毎週水曜日には東宮仮御所（赤坂離宮）より宮城に参内されている。このため行啓の内容として御政務を記した。なお、東宮仮御所にも日常的に御政務を執られているが、これについては『官報』の「官廷録事」や『宮内省省報』等を参照願いたい。この年、赤坂離宮内に生物学御研究所が開設されるが、お出ましについては未詳である。皇太子妃については、単に「妃」とせず「皇太子妃」と記した。このほか二重敬語も可能なかぎり避けた。国名は米・英・独のほかに基本的に漢字表記は用いず、カタカナ表記とした。また、資料上の「露国」は当時の国名「ソビエト社会主義共和国聯邦」に、「支那」は「中国」に変更し記したが、法律の名称などは当然そのままとした。

大正一五年（一九二六）

- 1・1 宮城【摂政。新年拝賀ノ儀】
- 1・2 宮城【摂政。新年拝賀ノ儀】
- 1・3 賢所・皇靈殿・神殿【宮中三殿】【摂政。御拝礼・御告文（元始祭）】
- 1・3 宮城【摂政。御対顔（未成年皇族）】
- 1・4 内閣【宮城】【摂政。御臨席（政始）】
- 1・5 宮城【摂政。御臨席（新年宴会）】

- 1・6 二重橋前広場【皇太子。御臨場（帝都消防出初式）】（自動車にて消防隊御検閲。警視總監太田政弘の言上御聴取。消防組木遣行列・消防自動車行列行進・表彰式・消防幹部木遣音頭・消防組各種演技を御覧）
- 1・6 宮城【摂政】（枢密顧問官へ定例賜謁）
- 1・8 代々木練兵場【摂政。御臨場（陸軍始観兵式）】（摂政自動車公式鹵簿。初録号御乗馬にて御親閲）
- 1・10 新宿御苑【皇太子。御運動（ユルン）】（以下同1/24, 3/14, 4/25, 5/9, 10/3, 10, 24）
- 1・13 宮城【御政務】（朝日新聞社計画訪欧飛行の操縦士陸軍航空兵大尉安辺浩・同河内一彦・機関士篠原春一郎・同片桐庄平に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁）
- 1・15 宮城【摂政。御臨席（講書始）】（洋書・東京帝国大学教授山田三良より「アローチウスノ平戦法規論ト国際聯盟ノ将来」を、漢書・学習院教授岡田正之より「論語学而篇用和為貴章ノ一節、附憲法十七条」を、国書・宮内省御用掛関根正直より「続日本紀天平十五年ノ詔勅」をそれぞれ御聴取。終わって皇太子妃と共に御内儀。チリ国特命全權公使ドン・ペドロ・リヴァス・ヴェクニアより信任状ならびに前任公使の解任状を御受領）
- 1・17 浜離宮（鴨狹）【摂政】（昨年の行啓関係者・行啓地地方長官・知事等御名）
- 1・18 宮城【摂政。御臨席（歌御会始）】（御題「河水清」。東宮御歌「広き野をなかれゆけとも最上川うみに入るまてにこらさりけり」）
- 1・20 宮城【御政務】（摂政。欧州へ出発の陸軍航空兵中佐江橋英次郎・独国へ出発の陸軍三等軍医正竹内鋳・同陸軍砲兵大尉六城雅景・英国へ出発の陸

軍騎兵大尉楠淵鎧一・仏国より帰朝の陸軍砲兵少佐菰田康一・英国より帰朝の陸軍三等主計正藤原明夫・同陸軍歩兵大尉長谷川美代次・米国より帰朝の陸軍騎兵大尉井上義雄・同陸軍歩兵大尉杵村久藏・独国より帰朝の陸軍歩兵大尉鈴木宗作、また欧米より帰朝の検事平田勲・判事小林四郎・同佐藤竜馬・司法書記官岡部常に賜謁。枢密院会議に御臨席、議題「皇室儀制令案」

1・21 宮城【御政務】(帰国につき英国特命全権大使サー・チャールズ・ノルトン・エヂカムプ・エリオットに謁見仰付けられる。また邦彦王同妃およびエリオットと午餐御会食、内大臣牧野伸顕・外務大臣幣原喜重郎・宮内大臣一木喜徳郎以下に御陪食を賜う。終わって御内儀)

1・27 宮城【御政務】(陸軍教育本部長陸軍中将渡辺寿・陸軍士官学校長陸軍中将宮地久寿馬・東京広島熊本各陸軍幼年学校長三名に賜謁。皇族会議に御臨席、議題「皇族就学令」。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔)

1・30 皇靈殿(宮中三殿)【御拝礼(孝明天皇例祭)】

2・3 宮城【御政務】(枢密顧問官へ定例賜謁。御内儀にて皇后・崇仁親王に御対顔)

2・7 遷錦閣【御会食(御昼餐)】(皇太子妃御同列)

2・10 宮城【御政務】(着任の英国臨時大使セシル・フランシス・ジョセフ・ドーマー、同国大使館附陸軍武官陸軍少佐エル・アール・ヒルおよび離任帰国の同国大使館附陸軍武官陸軍大佐エフ・エス・ジー・ピゴットを御引見になる。枢密顧問官へ定例賜謁)

2・11 賢所・皇靈殿・神殿(宮中三殿)【御拝礼・御告文(紀元節祭)】(皇太子妃御同列。次いで御内儀)

2・11 宮城【御臨席(紀元節宴会)】(皇太子妃御同列)

2・17 賢所・皇靈殿・神殿(宮中三殿)【摂政。御拝礼(祈年祭)】

2・17 宮城【御政務】(米国へ赴任の陸軍砲兵大尉畑勇三郎・陸軍輜重兵大尉武内俊二郎に賜謁。築城部本部長陸軍中将福井策三以下築城支部長七名に賜謁。特命検閲使任命に関し海軍大臣海軍大将財部彪に賜謁。枢密顧問

官へ定例賜謁。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔)

2・21 皇靈殿(宮中三殿)【御拝礼(仁孝天皇例祭)】

2・24 宮城【御政務】(枢密顧問官へ定例賜謁)

2・24 近衛師団司令部【皇太子。御出務】(管下状況につき師団長陸軍中将田中国重の言上御聴取。将校下士の撃剣・銃剣術を御覧)

2・28 遷錦閣【御会食(御昼餐)】(皇太子妃御同列)

3・1 参謀本部【皇太子。御出務】(参謀総長陸軍大将河合操の言上、陸軍歩兵大尉久保田肇より張郭戦争につき御聴取。ついで陸地測量部にて測量部長陸軍少将大村齊より測量作業沿革・作業方法・写真測図など測量の進捗状況につき御聴取)

3・3 宮城【御政務】(海軍省医務局長海軍軍医中将雨宮量七郎以下九名へ賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁。ついでインドより帰朝の陸軍歩兵少佐本間雅晴に賜謁。なお、翌四日本間少佐より御所にて講話「印度ノ現状ニ就テ」を御聴取。新任の英国特命全権大使サー・ジョン・アントニー・セシル・テイラーより信任状ならびに前任大使の解任状を御受領、次に大使随伴の大使館参事官セシル・ドーマーほか十三名の謁見を受けられる。海軍大将竹下勇に賜謁、特命検閲の御沙汰書を賜う。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔)

3・10 宮城【御政務】(枢密顧問官へ定例賜謁。陸軍大臣陸軍大将宇垣一成より陸軍機密費問題につき言上御聴取。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔)

3・10 陸軍戸山学校【御臨席(明治三十七八年戦役第十九回陸軍記念会)。御覧(武技)。御臨席(祝宴)】

3・17 宮城【御政務】(憲兵司令官陸軍中将松井兵三郎以下憲兵隊長会議関係者二十四名・軍馬補充部本部長陸軍少将植田謙吉以下同支部長会議関係者九名・海軍省法務局長山田三郎以下法務部長会議関係者七名に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁。陸軍省軍務局長陸軍中将畑英太郎以下聯隊区司令官会議関係者五十八名に賜謁。内大臣牧野伸顕に賜謁。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔)

- 3・21 皇靈殿・神殿〔宮中三殿〕【御拝礼（春季皇靈祭・春季神殿祭）】
- 3・22 宮城【御政務】（新任のスペイン国特命全権公使、ベドロ・カルティン・イ・デル・サース・カバイエロより信任状ならびに前任公使の解任状を御受領）
- 3・24 宮城【御政務】（枢密顧問官へ定例賜謁。終わって天皇皇后に御対顔）
- 3・29 学習院〔目白〕【摂政。御臨席（卒業証書授与式）】（成績品、馬術体操等御覧）
- 3・30 陸軍自動車学校（荏原郡世田谷町）【摂政。御臨席（学生終業式）】（学校長陸軍少将天谷知彰より学校教育書類御受領。輻重兵第十大隊中隊長陸軍輻重兵大尉友沢英一の講演『ルノ』六輪自動車ニ就テ』を御聴取。参考品等御覧）
- 3・31 宮城【御政務】（帰任の仏国特命全権大使ポール・ルイ・シャル・クローデル、渡来の同国学士院事務総長アシャル、帰国のポーランド国特命全権公使スタニスラス・パーテク、着任のチリ国公使館附海軍中佐ドン・ホルヘ・フェルナンデス、同じく着任のメキシコ国公使館附陸軍武官陸軍少佐マヌエル・ホータ・ソリスをそれぞれ御引見になる。また、アルゼンチン国へ出発の陸軍歩兵少佐今村勝次に賜謁。参内の各師団長より管下状況の奏上を御聴取、終わって載仁親王・邦彦王・守正王と午餐御会食、元帥奥保翠・同川村景明・陸軍大臣陸軍大将宇垣一成・教育総監兼軍事参議官陸軍大将菊池慎之助・参謀総長陸軍大将鈴木庄六・軍事参議官兼東京警備司令官陸軍大将武藤信義・近衛師団長陸軍中将田中国重以下各師団長等に御陪食を仰付けられる。御内儀にて天皇皇后に御対顔）
- 4・3 皇靈殿〔宮中三殿〕【摂政。御拝礼・御告文（神武天皇祭）】
- 4・7 宮城【御政務】（陸軍省経理局長主計総監三井清一郎ほか二十二名に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔）
- 4・11 皇靈殿〔宮中三殿〕【摂政。御拝礼（昭憲皇太后例祭）】
- 4・13 日本青年館【皇太子。御視察】（館内御巡覧。大講堂にて大日本聯合青年団理事長事務取扱丸山鶴吉の奉迎文を御受領になり、公爵二条厚基による万歳三唱を受けられる）
- 4・14 宮城【御政務】（欧米へ出発の判事染谷吉次・同大原利文・同福地親吉・同沼義雄・同鹿島鶴之助・同池内善雄・検事岩松玄十・同戌亥忠一・司法書記官赤羽照に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁。午餐御催しにつき、鳩彦王同妃・米国特命全権大使チャールズ・マクヴェー同夫人を召され、出御の皇后と共に御臨席。内大臣牧野伸顕ほか十四名に御陪食を賜う）
- 4・18 遷錦閣【御会食（御昼餐）】（皇太子妃御同列）
- 4・21 宮城【御政務】（参謀次長陸軍中将金谷範三以下各軍および各師団参謀長二十四名、大蔵省主税局長黒田英雄以下大蔵省会議に参列の税務監督局長・税関長十六名、米国へ出発の司法省東京少年審判所少年保護司川村顕雄に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁）
- 4・22 新宿御苑【摂政。御臨場（観桜会）】（皇太子妃御同列。日本館で故菊麿王妃常子、邦彦王同妃、朝融王、守正王同妃、鳩彦王同妃允子内親王、稔彦王妃聰子内親王に御対顔）
- 4・25 新宿御苑【皇太子。御運動（ゴルフ）】（午後、李王圻危篤につき急遽還啓）
- 4・28 宮城【御政務】（特命検閲使海軍大将竹下勇に賜謁、特命検閲成績の覆奏を御聴取。枢密顧問官へ定例賜謁）
- 4・28 海軍軍令部【皇太子。御出務】（軍令部長海軍大将鈴木貫太郎以下に賜謁。鈴木軍令部長の言上御聴取）
- 4・29 宮城【皇太子。御対顔（天皇皇后）】（御誕辰につき天皇皇后に御礼言上）
- 4・30 宮城【御政務】（博恭王を召され、東京府知事平塚広義以下各地方官および内閣総理大臣兼内務大臣若槻礼次郎・宮内大臣一木喜徳郎・侍従武官長奈良武次等に午餐御陪食を賜う。この午餐は二十八日の予定であったが、李王薨去のためこの日に変更）
- 5・3 宮城【御政務】（守正王を召され、控訴院長・検事長・地方裁判所長・検事正および宮内大臣一木喜徳郎・司法大臣江木翼等に午餐御陪食を賜う。高等師範学校長会議並びに商業専門中学校長会議参列の東京音楽学校校長村上直

次郎ほか二十二名、司法官會議に参列の山口地方裁判所長多田常太郎ほか四十六名に賜謁)

5・5 宮城【御政務】(参謀本部総務部長陸軍少将阿部信行ほか十六名に賜謁、特命検閲使陸軍大將守正王の伏奏御聴取。侍従武官川岸文三郎に賜謁。博恭王を召され、特命検閲使海軍大將竹下勇および宮内大臣一木喜徳郎等に午餐御陪食を賜う。御内儀にて天皇皇后に御対顔、高松宮・崇仁親王にも御対顔)

5・8 宮城【御政務。朝見ノ儀(萩磨王成年式につき)】(朝見ノ儀終了後、枢密院議長倉富三郎より一名欠員の枢密顧問官補充につき田健治郎適任との内奏を御聴取)

5・10 化学工業博覧会場(上野池之端)【皇太子。御巡覧(第二回化学工業博覧会)】(同博覧会副総裁清浦奎吾等に賜謁。会場御先導同博覧会会長高松豊吉。御巡覧後、上野竹之台へ)

5・10 東京府美術館(上野竹之台)【皇太子。御巡覧(第一回聖徳太子奉讃美術展覧会)】(財団法人聖徳太子奉讃会副会長長沢沢栄一等に賜謁。会場御先導同会理事正木直彦。日本画を川合玉堂より、洋画を藤島武二よりそれぞれ説明御聴取)

5・12 宮城【御政務】(帰任のローマ法王特派使ジアルデニーの謁見を受けられる。英国・独逸・米國・仏國へそれぞれ出發する陸軍工兵少佐風早清・同砲兵大尉間藤徹十郎・同工兵大尉村瀬恒光・同砲兵大尉相馬癸八郎に、またメキシコ國より帰朝の陸軍騎兵中尉細川孝典に賜謁。枢密院會議に御臨席、議題「樺太庁官制中改正ノ件」)

5・15 濟寧館【皇太子。御覧(皇宮警察部武術大会)】(柔道および剣道の模範形およびそれぞれの特別試合御覧。終わって御内儀)

5・18 宮城【御政務】(来日の英国基督教青年会幹事サー・アーサー・ケー・ヤップを御引見になり、ついで賜暇帰國のデンマーク國臨時代理公使アイナル・ヴェルウムの謁見を受けられる。海軍省軍務局長小林躋造以下機関長會議関係者・海軍省軍需局長池田岩三郎以下軍需部長會議関係者・海軍省人事

局長左近司政三以下人事部長會議関係者計十七名に賜謁。新任のアルゼンチン國特命全權公使ドクトル・マリオ・ルイス・デ・ロス・リヤノスより信任状ならびに前任者の解任状御受領。終わって御内儀にて明日より岡山・広島・山口三県下行啓につき天皇皇后に御暇乞)

5・19 岡山・広島・山口方面【皇太子。御視察】(6・2還啓)

5・19 東宮御所より東京駅より横須賀駅へ逸見埠頭より軍艦長門【御乗艦・御飯泊】(5・21。御乗艦後御出港)

5・20 軍艦長門(終日御航海。日中デッキゴルフ御運動、相撲等御覧)

5・21 軍艦長門より宇野港(岡山県)【御入港、宇野鉄道棧橋御上陸】(宇野駅より岡山県庁(岡山県知事佐上信一の県治一般奏上御聴取、奉迎文御受領。岡山県會議長横山泰造、岡山市長窪谷逸次郎よりそれぞれ奉迎文御受領。御昼餐。献上品御覧) (県會議事堂より岡山借行社より岡山県立農事試験場(場長熊切茂雄の説明にて陳列室・標本畜牛・蔬菜園等御巡覧。岡山県特産表稗真田組競技御覧) (練兵場(歩兵第十聯隊留守隊・工兵第十大隊・帝國在郷軍人会岡山支部各分会代表者ほか総計二万三百八十四名による分列を御乗馬にて御親閲。奉迎歌奉唱および万歳三唱を受けられる)

(岡山県商品陳列所(佐上知事の説明にて県下物産御覧) (岡山地方裁判所(所長伊藤久次郎および検事正田中昌太郎よりそれぞれ言上書御受領) (後楽園延養亭【御泊】(5・23。御到着後、鶴鳴館にて偉人先哲遺墨遺品御覧。佐上知事の案内にて園内御覧。浩養軒にて教育成績品御覧。御夕餐後、県下各地の名勝および産業状況等の活動写真御覧。旭川対岸の提燈行列を御覧になり御答礼。この日、東宮武官海軍中佐近藤信竹を三井物産株式会社造船部玉工場へ、東宮侍従甘露寺受長を頼仁親王墓・琴浦町役場・味野町塩田・茶屋町役場・茶屋町信用販賣購買組合・早島町役場・藤田農場へそれぞれ御差遣)

5・22 後楽園延養亭(園内に黒松御手植、楠・黒松御播種) (岡山城(工兵第十大隊架設の軍用船橋御利用。子爵池田政時より伝来の什物につき御

聴取。天守にて佐上知事より岡山一帯の地理につき、大阪土木出張所長真田秀吉より旭川改修計画と岡山市都市計画につき、池田子爵より岡山城史につき御聴取。岡山駅へ倉敷駅へ高梁川堤防（真田所長より高梁川の灌漑・水害・改修等の状況につき御聴取。堤上より対岸の在郷軍人・学校生徒児童・青年団等合計一万九百三十六名を御親閲、奉迎歌奉唱・万歳三唱御聴取）へ倉敷紡績株式会社万寿工場事務所（御先導社長大原孫三郎。場内御巡覧）へ労働科学研究所（御先導所長暉峻義等。動物試験・婦人労働者の現況・夜業の害悪につき研究実績等御巡覧）へ財団法人大原奨農会農業研究所（所長近藤万太郎より研究所沿革・台覧品概要につき御聴取。標本室・実験室・植物病理昆虫研究室・種芸研究室御巡覧）へ倉敷駅へ吉永駅へ閑谷学校（池田光政・熊沢蕃山等の遺墨・遺品御覧。聖廟の孔子像御覧。閑谷神社に御会釈。閑谷中学校校庭にて在郷軍人・各種学校生徒児童等を御親閲）へ吉永駅へ岡山駅へ岡山師範学校（県下小学校校長ならびに同校附属職員に御会釈。同校生徒ならびに附属小学校児童の体操競技等御覧）へ後楽園（この日、東宮武官進沼蕃を岡山招魂社へ、東宮侍従土屋正直を博愛社・有漢村役場・新見町へ、同牧野貞亮を操陽町役場・岡山練乳株式会社・国幣中社阿仁神社・備前燒窯元・県社和気神社へそれぞれ御差遣）

5・23 後楽園延養亭へ岡山医科大学（学長田中文男より大学沿革・状況につき御聴取。大講堂にて各種実験御覧）へ岡山駅へ吉備津駅へ官幣中社吉備津神社（御先導宮司藤井奎之助。御拝礼）へ吉備津駅へ津山駅へ鶴山城（鶴山館にて学校生徒児童成績品・地方特産品および松平子爵家宝物御覧。川村理學博士の説明にて虎斑竹・山椒魚御覧。御徒歩にて城内御巡覧。旧藩主子爵松平康春に賜謁）へ岡山県立津山中学校運動場（在郷軍人・学校生徒等御親閲）へ津山駅へ岡山駅へ第六高等学校（学校長小松倍一より言上書御受領。運動場にて万歳三唱を受けられ、生徒の剣道・柔道・弓道を御巡覧）へ後楽園延養亭（御召の岡山医科大学教授鈴木稔よりジストマの繁殖系統・片山病と肝臓ジストマとの関係等につき御聴取。鶴鳴館にて陸軍

大臣陸軍大将宇垣一成・衆議院議員犬養毅・子爵池田政時・岡山県知事佐上信一等行幸事務関係者に御陪食下賜。この日、東宮侍従本多正復を浮田製絲工場・国幣中社中山神社・津山施療院・郡是製絲株式会社津山工場・県社作楽神社・久米製絲販売利用組合へ、同牧野貞亮を倉敷中央病院・岡山県真田同業組合・悲眼院・後月郡役所へ、同土屋正直を旧藩学講堂・岡山市役所・大吉備津彦命墓・岩田村役場へ、東宮武官進沼蕃を岡山衛戍病院へそれぞれ御差遣）

5・24 後楽園延養亭へ岡山駅へ福山駅へ福山公園（遙拝所にて岡山県知事佐上信一の説明御聴取、御展望。葦陽館にて日本住血吸虫病の資料・史料・地方特産品等を御覧。噴水前で神石牛御覧）へ歩兵第四十一聯隊（将校集會場にて伯爵阿部正直等に賜謁。福山市長阿武信一・同市会議長河相三郎よりそれぞれ奉迎文御受領）へ練兵場（軍隊・在郷軍人会等の分列を御親閲。国民歌奉唱・万歳三唱御聴取）へ鞆町仮棧橋（汽艇初加瀬に御乗艇、吳鎮守府司令長官安保清種等陪乗）へ仙酔島（風景御鑑賞。古式による鯛網作業御覧。汽艇初加瀬に御乗艇）へ尾道尼ヶ崎汽船株式会社棧橋（御上陸）へ海岸広場（学校生徒・青年団員等を御親閲。国民歌奉唱・万歳三唱御聴取）へ尾道駅へ広島駅へ旧広島大本営【御泊】（5・26。この日、東宮侍従甘露寺受長を国幣小社沼名前神社・県社阿部神社・財団法人義倉・備後三織物同業組合・帝國染料株式会社・備後本口畳表同業組合・尾道常設家畜市場へ、東宮武官近藤信竹を福山招魂社へそれぞれ御差遣）

5・25 旧広島大本営（園内に松御手植）へ第五師団司令部（第五師団長陸軍中将岸本鹿太郎より管下状況御聴取）へ広島陸軍幼年学校（武道場にて剣術試合を、運動場にて野試合を御覧）へ広島県商品陳列所（広島県知事浜田恒之助の説明にて県内物産・献上品を御覧）へ西練兵場（歩兵第十一聯隊営門前広場で初緑に御乗馬。西練兵場で軍隊・幼年学校・在郷軍人等を御親閲。浜田知事より奉迎文御聴取）へ広島県庁（浜田知事より県勢一般を御受領。県会副議長加藤俊夫・広島市長川淵竜起よりそれぞれ奉迎文

御受領。県会議事堂にて検事天津弥太郎ほか百二十二名に列立賜謁。前庭に黒松御播種。御昼餐）↳陸軍運輸部（運輸部長陸軍中将赤井春海より部内現況等御聴取。海上の各種軍用舟艇・敵前上陸用小舟艇等御覧。機材陳列所にて海軍関係諸機材御覧。宇宙品）↳広島控訴院（広島控訴院長須賀喜三郎・同検事長皆川治広より所管事務御聴取）↳広島県立広島高等女学校（家事室・化学実験室にて授業御覧）↳旧広島大本営（岸本師団長の先導にて旧大本営玉座跡等御覧。広島城天守閣御登臨。終わって陳列室にて資料諸種御覧。修道中学校長古賀円太等による説明にてナメクジ魚等御覧。夜、市内中等学校以上男子生徒と一般市民による提燈行列御覧。この日、東宮侍従土屋正直を国幣中社速谷神社・市立西隣保館・広島畜産株式会社・田村工業株式会社・県社饒津神社・日本製鋼所広島工場・広島修養院・広島修道院・広島県立盲啞学校へ、東宮武官近藤信竹を広島招魂社・大阪鉄工所因島工場へそれぞれ御差遣）

5・26 旧広島大本営↳浅野図書館（沿道の小学校生徒一人による旗体操御覧。別名教育陳列場。浜田知事の説明にて県下生徒成績品・青年団員および処女会員等の成績品、教育参考資料等御覧。三階展望室より広島市鳥瞰図により四方御展望）↳県立広島第一中学校（運動場にて、学校長野山忠幹の説明にて第一中学校対広島県師範学校の模範ア式蹴球ヘアソシエーションフットボールAssociation Football）試合御覧）↳株式会社帝國人造絹糸（社長佐藤法潤の先導にて原料室・紡糸室等御覧。休憩室にて人造絹糸製造工程の資料等御覧）↳広島高等学校（広島高等学校長十時弥より言上書御受領。文科・理科對抗の蹴球御覧）↳浅野泉邸（清風館御座所にて侯爵浅野長勲等に賜謁。浅野侯爵の案内にて邸内縮景園を御覧。明治天皇行幸記念碑・貞明皇后行啓記念碑等御覧。御昼餐）↳広島高等師範学校（校長吉田賢竜の言上書御受領。運動場にて附属小学校尋常科生徒の行進遊戯・本校生徒のメドレーリレー・附属中学校生徒の中隊教練等御覧）↳広島高等工業学校（学校長川口虎雄より言上書御受領。応用化学実験室

・電気工学科実験室等御覧。図書館にて生徒成績品御覧）↳比治山公園（御徒歩にて御登攀。御先導広島市長川淵竜起。山頂の便殿にて陳列品御覧。御展望。呉海軍楽隊の奏楽および広島市立高等女学校生徒による奉迎歌奉唱御聴取）↳旧広島大本営（御夕餐に浜田知事・岸本第五師団長・農林大臣早速整爾・浅野侯爵・阿部伯爵等へ御陪食下賜。この日、東宮侍従牧野貞亮を小泉施業森林組合・賀茂鶴酒造株式会社、西志和農業補習学校へ、同土屋正直を扶善館・合名会社三宅清兵衛商店・広村役場へ、東宮武官今村信次郎を広島海軍工廠・財団法人帝國海軍軍人ホームへ御差遣）

5・27 旧広島大本営↳広島駅↳呉駅↳呉鎮守府（呉鎮守府司令長官海軍中将安保清種より呉軍港沿革・現況につき御聴取。会議室にて日露戦争時の広瀬武夫中佐絶筆遺品および佐久間勉艇長遺書等御覧。大正六年七月行啓時の御手植の松御覧）↳呉海軍工廠（工廠長代理水雷部長海軍少将岸科政雄の案内にて航空母艦赤城模型御覧、艤装中の同艦の甲板にて造船部長海軍少将永村清の説明を御聴取後、作業服にて内部御覧）↳セーラー万年筆製作所（所主坂田久五郎の説明にて製作工程御覧）↳二河公園（市内中等学校生徒・在郷軍人会・青年団等御親閲）↳呉水交支社（途中沿道の小学校生徒徒手操御覧。御昼餐）↳呉軍港第一上陸場↳軍艦長門【御乗艦・御出港】（途中、海軍兵学校生の奉迎御覧。広島高等師範学校教授乾環の内外産コルクの比較につき御聴取）↳厳島沖↳仮棧橋（御上陸）↳官幣中社厳島神社（宮司菊池武文の先導により本殿階下にて御拝礼。平舞台において禰宜野坂元定より厳島の戦につき御聴取。貴賓室にて天皇御奉納の御剣、皇后御奉納の紅白絹、安徳天皇の御玩具等御覧。大正三年行啓時の御手植杉御覧）↳弥山（御登攀）↳仮棧橋↳軍艦長門【御仮泊】（御夕餐後、佐伯郡沿海十ヶ町村による三万個の灯籠流御覧。また、汽艇初加勢御乗艇にて灯籠近くを御遊覧。この日、東宮武官近藤信竹を呉海軍病院へ御差遣）

5・28 軍艦長門↳宮島鉄道棧橋（御上陸）↳宮島駅↳岩国駅↳錦帯橋（山口県知事大森吉五郎の説明御聴取。御渡橋）↳山口県立岩国中学校（大島

郡・玖珂郡の在郷軍人会代表者・学校生徒・青年団代表者等御親閲）↳子爵吉川元光邸（途中、吉香公園を御通過になり県社吉香神社には御会釈。枢密顧問官江木千之・子爵吉川元光等に賜謁。献上品・吉川家宝物・天然記念物の白蛇等御覧）↳岩国駅（車中にて御昼餐）↳徳山駅↳海軍燃料廠（海軍燃料廠長海軍少将山下巍八郎より海軍燃料廠の沿革・現況につき御聴取。海軍軍用燃料各種・廠所属炭坑模型・諸器械および諸装置図等を御覧。雨中御徒歩にて練炭部・製油部・研究部等の設備および作業状況等御覧）↳埋立地（在郷軍人・学校生徒・青年団等を御親閲。スタンドより山口県立徳山中学校・同下松工業学校生徒四百名による体操御覧）↳徳山駅↳三田尻駅↳山口県庁【御泊】（5・29。夜、岩国町少年による南条踊、佐山村青年による鬨鶏踊御覧。また、陳列室にて献上品・生徒成績品・県物産等御覧。この日、東宮武官近藤信竹を官祭招魂社へ、東宮侍従本多正復を株式会社義済堂・日本紙業株式会社芸防工場へ、同甘露寺受長を児玉文庫・県社伊藤神社（御差遣）

5・29 山口県庁（東京より帰省の司法大臣江木翼・公爵山県伊三郎・男爵田中義一等に賜謁。大森知事より県治概要御聴取。パルコニーより雨中整列の大森知事ほか県下市町村長・各種団体代表者七千余名に挙手の礼を賜い、大森知事の奉迎文御聴取のうえ、山口県会議長庄晋太郎の奉迎文と共に御受領。松樹御手植、黒松御播種）↳別格官幣社豊栄神社（御拝礼）・別格官幣社野田神社（御拝礼）↳歩兵第四十二聯隊（営庭にて同聯隊現役部隊・在郷軍人を御乗馬にて御親閲。将校集会所にて歩兵第二十一旅団長陸軍少将原田敬一より管下状況御聴取）↳山口地方裁判所（山口地方裁判所長多田常太郎・山口地方裁判所検事正棚木悦太郎より所管事務概要の言上書御受領）↳亀山公園（雨天のため中止の御前試合に参加予定の演武者に御会釈。日露戦役記念砲台御巡覧。山頂にて毛利敬親銅像御覧後、市街御展望）↳県立教育博物館（館長作間久吉等の説明にて長州藩関係維新史料御覧）↳山口県庁（一時還啓）↳山口高等商業学校（校長鷺尾健治より言

上書御受領。学校沿革資料・教育参考資料等御覧）↳同運動場（スタンドより佐波・吉敷二郡下学校生徒・青年団等約七千八百人を御親閲。学校生徒等の陸上競技御覧）↳山口県師範学校（運動場スタンドより同校ならびに山口県女子師範学校生徒の各種運動体操御覧）↳山口高等学校（山口高等学校長新保寅次より言上書御受領。全校生徒の万歳三唱御聴取。周防・長門地域の先史・原始期の考古学資料御覧）↳山口県庁（御夕餐に陪食を賜った大森山口県知事に東宮侍従長を通じて難波大助の家族の近状を尋ねられる。夜、市内学校生徒等による提灯行列御覧。またホオズキ提灯にて御対応。この日、東宮侍従牧野貞亮を国幣中社玉祖神社・株式会社柏木験温器製作所・専売局三田尻試験場・山口県立図書館・山口県農事試験場・山口県立育成成学校・寺内文庫へ、東宮武官今村信次郎を官祭招魂社へそれぞれ御差遣）

5・30 山口県庁↳秋吉村滝穴（洞内を大森知事の先導、村長根来義興の説明にて御巡覧。途中「青天井」「長淵」「傘屋」「穴観音」等御覧。「金柱」までの御予定のところ御希望によりさらに「地獄」まで進まれる）↳公卿毛利元昭萩別邸【御泊】（御昼餐）↳萩城址（県社志都岐神社に御会釈。東園台より御展望になり花江茶亭御覧。見島牛・無角牛御覧）↳山口県立萩中学校運動場（美祢・大津・阿武三郡下の在郷軍人・学校生徒・青年団等約五千三百名を御親閲）↳明倫尋常高等小学校（明倫館址。同館碑文前にて大森知事より明倫館につき御聴取。校庭に列立の小学校児童・青年団員ほかに御会釈を賜り聖賢堂・用水池・敬身堂・有備館御巡覧）↳吉田松蔭史蹟（松陰神社に御会釈。松下村塾・松陰幽囚家屋等御覧）↳伊藤博文旧邸（大森知事の説明御聴取）↳松本椎原台御展望所（吉田松陰誕生地址。萩城下御展望）↳毛利萩別邸（一時還啓）↳明神池（大森知事の説明御聴取。山口県立萩中学校教諭田中市郎より笠山の寒暖両帯性植物につき御聴取。厳島神社より笠山御登攀になり日本海御展望）↳毛利萩別邸（夜、学校生徒・在郷軍人会・一般町民等約六千八百人の提灯行列に対し、御座所

縁側よりホオズキ提燈で御対応。仕掛花火御覧。この日、東宮武官近藤信竹を官祭招魂社へ、東宮侍従本多正復を沖之山炭鉱・東見初炭鉱・小野田セメント製造株式会社・大日本人造肥料株式会社小野田工場・優良組合無限責任横崎信用購買販売利用組合へ、同土屋正直を山口県水産試験場へそれぞれ御差遣)

5・31 毛利萩別邸へ萩駅へ宇部駅へ宇部市役所(台覧品陳列室にて宇部炭田関係資料・出土の化石等御覧。楼上御展望所より市街御展望)へ神原小学校運動場(御親閲場。宇部市・厚狭郡の男女中等学校生徒・在郷軍人会分会等約四千二百名を御親閲)へ宇部駅へ長門一ノ宮駅へ官幣中社住吉神社(宮司渡辺織雄の先導にて御拝礼。大森知事より神功皇后新羅征伐の戦利品と伝えられる銅鐘につき御聴取)へ国幣小社忌宮神社(宮司鳴瀬嘉貞の先導にて御拝礼。展望所より琴浦海岸・豊浦湾方面御展望)へ乃木希典旧邸へ国幣小社忌宮神社(足利尊氏祈願文・乃木大将自詠の和歌写本等御覧。古式神事の数家庭御覧)へ山口県立長府中学校運動場(豊浦郡および下関市内の学校生徒・在郷軍人会等約六千四百名を御親閲。男子生徒の運動体操、女子生徒の唱歌行進御覧)へ前田砲台址(大森知事より文久・元治の馬関戦争、寿永の源平合戦の状況等御聴取)へ官幣中社赤間宮(宮司近藤弘代の先導にて御拝礼)へ安徳天皇阿弥陀寺陵(諸陵頭杉栄三郎の先導にて御拝礼)へ春帆楼(日清講和談判旧跡。大森知事および下関市都市計画課長原田清輔より講和談判の状況御聴取。当時使用のテーブル・椅子等を御覧)へ関釜連絡船棧橋(駆逐艦磯風へ御乗艦)へ軍艦長門(本山沖にて御移乗。御出港)【御仮泊】(へ6・1。この日、東宮侍従本多正復を愛国婦人会山口支部下関盲啞学校・株式会社林兼商店冷蔵庫へ、東宮武官近藤信竹を日本火薬製造株式会社厚狭作業場・クロード式窒素工業株式会社へ御差遣)

6・1 御航海

6・2 横須賀軍港(御入港御上陸)へ横須賀駅へ東京駅へ東宮仮御所

6・3 宮城【御政務】(枢密院会議に御臨席、議題「工場法施行令改正ノ件」。

御内儀にて天皇皇后に御機嫌奉伺)

6・7 宮城【御政務】(新任のペルー国特命全権公使ドン・マヌエル・エリアス・ボンヌ・メーンソンより信任状ならびに前任者の解任状御受領。賜暇帰国につきオランダ国特命全権公使イエー・セー・パプストの謁見を受けられる。御内儀にて天皇皇后の御機嫌奉伺)

6・9 宮城【御政務】(遠洋航海に出発の萩磨王に御対顔、また練習艦隊司令官海軍中将山本英輔ほか百五十一名に賜謁。侍従武官川岸文三郎の復命御聴取。御内儀)

6・16 宮城【御政務】(帰国のメキシコ国特命全権公使ドクトル・ドン・カルロス・ブイグ・カサウランクより御暇乞の謁見仰付けられる。仏国より帰朝の陸軍騎兵少佐城戸俊三・独国より帰朝の陸軍工兵大尉下田宣力・仏国へ出発の陸軍歩兵大尉西原貫治・独国へ出発の陸軍砲兵大尉杉浦辰雄・独国及び英国へ出発の陸軍工兵大尉小倉尚・英国へ出発の同立花章一・仏国へ出発の陸軍航空兵大尉柳成利・独国及び仏国へ出発の陸軍一等軍医細見憲に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁。午餐御催しにつき載仁親王、故依仁親王妃周子、本邦駐劄英国特命全権大使サー・ジョン・アントニー・セシル・テイラー、同夫人ならびに娘を召され、出御の皇后と共に御臨席になり、内大臣牧野伸顯ほか十六名に御陪食を賜う。御内儀)

6・23 宮城【御政務】(仏国より帰国の陸軍少将大平善市に賜謁。枢密院会議に御臨席、議題「皇室陵墓令案」「皇族後見令案」「皇族遺言令案」。博恭王と午餐御会食につき麝香問祇候および旧五摂家より公爵徳川家達・同九条道実・同近衛文麿・同鷹司信輔・侯爵山内豊景ほかに御陪食を賜う。御内儀にて崇仁親王にも御対顔)

6・25 宮城【皇太子。皇后御誕辰につき御祝詞言上】(皇太子妃御同伴。終わって御宴席御臨席)

6・28 参謀本部【皇太子。御出務】(参謀総長陸軍大将鈴木荘六より管下言上を、陸軍歩兵少佐永見俊徳より本邦留学出身中国軍将校の現状を御聴取にな

り、また陸軍の活動写真御覽)

6・29 東洋文庫【皇太子。御視察】(東京帝国大学助教原田淑人の説明により楽浪郡王肝墓発掘品を、東洋文庫理事白鳥庫吉の説明により同文庫所蔵稀観書をそれぞれ御覽後、館内御巡覧)

6・30 宮城【御政務】(離任の米国大使館附武官代理海軍少佐ハーバート・アール・ハインを御引見、独国へ赴任の特命全権大使長岡春一、ついでソビエト社会主義共和国聯邦より帰朝の陸軍歩兵少佐清水規矩・米国へ出発の陸軍歩兵大尉有村常吉・仏国へ出発の陸軍航空兵中尉吉田隼雄の三名に賜謁。枢密院会議に御臨席、議題「明治三十四年勅令第八十六号衆議院議員選挙法施行令中改正ノ件」「北海道衆議院議員選挙特例中改正ノ件」「大正十五年勅令第三号衆議院議員選挙法施行令中改正ノ件」「小学校令中改正ノ件」。宮内大臣一木喜徳郎より言上を御聴取。終わって御内儀にて天皇皇后に御対顔)

7・7 宮城【御政務】(宗秩寮総裁仙石政敏に賜謁。欧米へ出発の陸軍砲兵大佐長谷川鉄次郎・同中佐吉田藤助に賜謁。枢密顧問官へ定例賜謁。特命検閱使陸軍大將守正王より復命御聴取。載仁親王・邦彦王・守正王と午餐御会食。特命検閱使員ならびに元帥陸軍大將奥保鞏・同上原勇作・陸軍大臣陸軍大將宇垣一成等へ御陪食を賜う。終わって御内儀)

7・8 宮城【御政務】(皇族會議に御臨席・御統理、議題「皇室陵墓令案」・「皇族後見令案」・「皇族遺言令案」)

7・14 宮城【御政務】(アルゼンチン国へ赴任の特命全権公使古谷重綱、欧州より帰国の陸軍砲兵少佐岩城庄助・陸軍輜重兵少佐立石益太に賜謁。枢密院會議に御臨席、議題「関東庁官制中改正ノ件」「支那饑饉救済附加稅徵收繼續方ニ関スル件」。正午豊明殿において午餐御催しにつき、皇后・皇太子妃・守正王・同妃伊都子・李王娘・同妃方子女王と御会食。春仁王一条実孝妹直子と結婚につき、朝見ノ儀に臨まれ勅語を賜う)

7・16 陸軍士官学校【摂政。御臨席(卒業証書授与式)】(御乗馬にて御閱兵に臨まれ、大講堂にて近衛歩兵第三聯隊士官候補生高瀬啓治「得利寺附近ノ

戰闘ニ於ケル歩兵第十九旅団ノ行動ニ就テ」および歩兵第三十四聯隊士官候補生吉田元久「軍隊教育ニ就テ」の兩講演御聴取。剣道御覽。在校の茂磨王・恒徳王・李鍵公に御対顔後、卒業証書授与式御臨席。成績優秀として高瀬・吉田ほかに銀時計下賜)

7・19 下志津陸軍飛行学校(千葉県下志津)【摂政。御視察・御臨場(卒業式)】東宮御所より兩國駅より四街道駅より下志津陸軍飛行学校(下志津陸軍飛行学校長陸軍少將荒蒔義勝より教育に関する書類御受領。飛行場にて飛行演習御覽。飛行機の通信設備の説明御聴取。飛行機による距離測定演習御覽後、写真撮影設備の説明御聴取。卒業式場へ御臨場になり、成績優秀として戦術学生下田竜栄門ほかへ銀時計下賜。載仁親王・邦彦王・守正王・鳩彦王・李王娘と午餐御会食)より四街道駅より兩國駅より東宮御所

7・21 宮城【御政務】(帰任復職のスウェーデン国特命全権公使オスカル・アントン・ヘルマン・エーヴェロフの謁見を受けられる。枢密院會議に御臨席、議題「鉄道ノ國際制度ニ関スル条約及規程並署名議定書、海港ノ國際制度ニ関スル条約及規程並署名議定書御批准ノ件」外三件。第一遣外艦隊ならびに旅順海軍無線電信所より帰着の侍従武官倉賀野明の復命、陸軍歩兵学校より帰任の同川岸文三郎の復命をそれぞれ御聴取。終わって御内儀)

7・28 宮城【御政務】(枢密院會議に御臨席、議題「皇統譜令案」および「市町村境界ノ変更アリタル場合ニ於ケル衆議院議員選挙ノ施行ニ関スル件」。陸軍大將武藤信義以下七名の親補式御奉行)

7・30 皇靈殿(宮中三殿)【摂政。御拝礼・御告文(明治天皇例祭)】

8・4 宮城【御政務】(終わって御内儀)

8・9 宮城【皇太子。御暇乞(天皇皇后)】(明日より天皇皇后葉山御用邸に行幸啓につき)

8・10 宮城【皇太子。御奉送(天皇皇后)】

8・12 那須御用邸【皇太子。御避暑】へく9・9 還啓(皇太子妃・成子内親王御同列)

- 8・12 東宮仮御所く上野駅く黒磯駅く那須御用邸【御泊】(く9・8。新築の那須御用邸内御巡覧。なお、同邸については七月十六日付官報に「栃木県那須郡那須村那須御料地内ニ御用邸ヲ新設シ那須御用邸ト称ス」とある)
- 8・13 御馬場道より諸石原、見晴台方面【御外乗】
- 8・14 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用)
- 8・15 旧白河街道・黒木谷・見晴台方面【御外乗】
- 8・16 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用)
- 8・19 白河街道・小滝方面【御外乗】(昆虫御採取)
- 8・20 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用。皇太子妃御同列)
- 8・22 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用)
- 8・23 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用。皇太子妃御同列。夜、同妃と共に那須村湯本住民約二百名による提燈行列御覧)
- 8・24 黒木谷・見晴台方面【御外乗】
- 8・25 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用。皇太子妃御同列)
- 8・27 見晴台・楢木平・七曲方面【御外乗】
- 8・28 櫛谷方面【御外乗】(櫛谷にて菌類御採取。帰途ゴルフ場より皇太子妃御同列にて御徒歩で御帰還)
- 8・29 那須岳【御登攀】(御乗馬にて旧白河街道く大丸温泉へ藍藻類御採取くく那須硫黄鉱山事務所へ精錬所御覧)。徒歩にて鞍部へ御展望・御昼餐くく茶臼岳山頂く飯盛温泉へ温泉動植物御採集くく高雄股温泉へ硫黄バクテリア御採取くく高雄山岳学園。御乗馬にて御用邸御帰還)
- 8・30 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用)
- 9・1 大岩谷方面【御外乗】(粘菌類等御採取)
- 9・2 ゴルフ場【御運動】(馬車御利用)
- 9・4 御覧【打上煙火】(栃木県下煙火製造業者聯合による花火)
- 9・5 高雄股温泉方面【御外乗】(生物学御研究材料御採取)
- 9・6 大岩谷・七曲・諸石原方面【御外乗】
- 9・8 ゴルフ場付近【御外乗】
- 9・9 那須御用邸く黒磯駅く原宿駅く東宮仮御所
- 9・10 宮城【皇太子。御奉迎(天皇皇后)】(葉山御用邸より還幸啓につき。皇太子妃御同列にて御奉迎)
- 9・11 宮城【皇太子】(皇太子妃御同列。天皇軽度の脳貧血様発作)
- 9・13 宮城【御政務】(来日中のスウェーデン国皇太子グスタフ・アドルフ親王・同妃御参内につき御奉迎、皇后と共に御会談。御退出御奉送)
- 9・13 霞関離宮【御政務】(スウェーデン国皇太子参内の御答礼につき)
- 9・13 宮城【御政務】(皇后とともにスウェーデン国皇太子・同妃と御会食、皇太子妃・載仁親王・故依仁親王妃周子・博恭王および本邦駐劄スウェーデン国特命全権公使オスカル・アントン・ヘルマン・エーヴェロフを召され、宮内大臣牧野伸顕以下二十二名へ御陪食を賜う。なお、9・17には赤坂離宮に御招待)
- 9・14 宮城【御政務】(離任帰国の本邦駐劄ブラジル国特命全権大使リナルド・デ・リマ・エ・シルヴァの謁見を受けられ、ついで午餐御催しにつき、皇太子妃・鳩彦王およびブラジル国特命全権大使・同夫人を召され、皇后と共に御臨席。内大臣牧野伸顕ほか十六名へ御陪食を賜う。片岡直温を大蔵大臣に、藤沢幾之輔を商工大臣に任ずる親任式御挙行。終わって御内儀)
- 9・15 宮城【皇太子として御奉送(皇后)。摂政として御政務】(葉山御用邸行啓の皇后を御奉送。前台湾軍司令官陸軍大将菅野尚一より在任中の任務奏上御聴取。枢密顧問官に定例賜謁)
- 9・17 水交社【皇太子。御臨席(明治二十七八年戦役海軍記念日第三十一回祝賀会ならびに水交社創立五十年祝典)】(水交社社長海軍大臣海軍大将財部彪・海軍大将山本権兵衛以下親任官・同待遇へ賜謁。水交社総裁博恭王と御会食、社員等に御陪食を賜う。余興の横須賀海軍鎮守府水兵による角力御覧)
- 9・20 葉山御用邸【皇太子。御機嫌奉伺(天皇皇后)】(即日還啓)
- 9・22 宮城【御政務】(来日の米国人アーネスト・アドルフアス・ストージを

御引見。枢密院会議に御臨席、議題「陸軍省官制中改正ノ件」「万国郵便条約
第九条(ト)号削除ニ関スル諾威郵政庁提議ノ件」

9・22 紅葉山御写真場【御撮影(スウェーデン国皇太子御贈進用御写真)】(陸
軍御正装・スウェーデン国勳章御佩用等)

9・24 皇靈殿・神殿(宮中三殿)【摂政。御拝礼・御告文(秋季皇靈祭・秋季
神殿祭)】

9・29 宮城【御政務】(侍従長徳川達孝賜謁。前第一遣外艦隊司令官海軍少将
永野修身より任務につき奏上御聴取。海軍軍令部長海軍大将鈴木貫太郎より
大正十六年度作戦計画・防禦計画・戦時編制につき奏上御聴取。先に福岡・
熊本両県下における将官演習旅行に御差遣の侍従武官西義一より復命御聴取)

10・6 宮城【御政務】(枢密顧問官へ定例賜謁。ブラジル国より帰朝の特命全
權大使田付七太よりブラジルの現状につき御聴取。宮内大臣一木喜徳郎に賜
謁。この日、皇太子同妃御使として東宮女官長島津治子を葉山御用邸へ御差遣)

10・13 宮城【御政務】(掌典長谷信道に賜謁。欧米より帰朝の判事草野豹一郎
・梶田年に賜謁。枢密院会議に御臨席、議題「皇室喪儀令案」「国葬令」「開港
港則中改正ノ件」

10・13 新宿御苑【皇太子。御覧(宮内省内千代田倶楽部主催庭球試合)】(鳩
彦王・同妃允子内親王・李王垠・同妃方子女王・春仁王妃直子・華子女王・
博英王も御参観。日本庭球協会顧問広沢金次郎・同会長朝吹常吉以下陪観。
第一試合・俵積男対三木竜喜、第二試合・原田武一対熊谷一弥、第三試合・
原田・俵組対福田雅之助・安部民雄組。原田・俵はこの年デビスカップ戦で
善戦)

10・15 東京府美術館【皇太子。御巡覧(帝国美術院第七回美術展覧会および
日本工芸美術会第一回展覧会)】(帝国美術院会員川合玉堂より第一部、和田
英作より第二部、新海竹太郎より第三部の説明御聴取)

10・17 賢所(宮中三殿)【摂政。御拝礼・御告文(神嘗祭)】
10・20 宮城【御政務】(枢密院会議に御臨席、議題「長慶天皇ヲ皇代ニ列セラ

ルルノ件」。博恭王第二女子敦子女王の伯爵清棲幸保への帰嫁につき朝見ノ儀
を御挙行。博恭王を午餐に召され、帝室制度審議会総裁伊東巳代治・同委員
平沼騏一郎以下委員に御陪食を賜う)

10・22 賢所・皇靈殿・神殿(宮中三殿)【摂政。御拝礼・御告文(親告ノ儀)】(長
慶天皇を皇代に列せられるにつき)

10・23 神宮外苑【摂政。御臨席(明治神宮外苑竣工奉献式)】(相撲場にて載
仁親王に御対顔。相撲方屋開場式に御臨場。常の花寛市・西の海嘉治郎によ
る三段構土俵入り・東西幕内力士の揃踏御覧。続いて奉献相撲として勝抜決
勝相撲御覧。優勝西の海。ついで明治神宮外苑球場開場式に御臨場。奉迎東
京六大学野球聯盟選手ならびに東京中等学校野球聯盟。六大学選抜選手紅白
試合御覧。紅軍勝利)

10・25 葉山御用邸【皇太子。御機嫌奉伺(天皇皇后)】(皇太子妃御同列。即
日還啓)

10・27 宮城【御政務】(欧州より帰朝の陸軍三等軍医正北川文松および独国へ
出発の陸軍騎兵少佐石本寅三に賜謁。天長節祝日観兵式諸兵指揮官陸軍大将
白川義則の奏上御聴取。宮内大臣一木喜徳郎の言上御聴取。枢密顧問官へ定
例賜謁。進級会議に参加の各鎮守府司令長官・艦隊司令長官・要港司令官よ
り管下状況の奏上御聴取。博恭王を午餐に召され、海軍大臣・各鎮守府司令
長官・艦隊司令長官等進級会議関係者に御陪食を賜う)

10・28 陸軍工兵学校(千葉県東葛飾郡明村)【皇太子。御視察】上野駅へ松戸
駅へ陸軍工兵学校(将校集会所にて同校長陸軍少将若山善太郎より学校状況
の言上御聴取。校長の先導にて機械・電気実習場・電流鉄条網および動力に
よる製材・穿孔・照明・植杭等御覧)へ八柱演習場(雨中、工兵の突撃作業
演習御覧)へ将校集会所(李王垠と御昼餐御会食。理学博士川村清一より同
地特産の金明竹につき説明御聴取)へ千葉県立高等園芸学校(御立寄。諸種
標本類御覧)へ架橋演習場(水中爆破および門橋の一斉架橋演習御覧)へ松
戸駅へ上野駅へ東宮仮御所)

- 10・31 代々木練兵場【摂政。御臨場（天長節観兵式）】
- 10・31 宮城【摂政。御臨席（天長節拝賀・天長節宴会）】
- 11・2 宮城【皇太子。御奉迎（皇后）】
- 11・3 官幣大社明治神宮【皇太子。御参拝（例大祭）】
- 11・3 宮城【御政務】（来日の米国人ルイス・エル・ストラウスを御引見になる。朝鮮軍司令官陸軍大将森岡守成・関東軍司令官陸軍大将武藤信義・台湾軍司令官陸軍中将田中国重よりそれぞれ軍状を御聴取。宮内省御用掛就任につき東京帝国大学教授稲田竜吉に賜謁。守正王を午餐にお召しになり、皇室令審議慰勞につき枢密院議長倉富勇三郎・同副議長平沼騏一郎以下枢密顧問官その他へ御陪食を賜う。終わって御内儀）
- 11・8 宮城【御政務】（新任のメキシコ国特命全権公使ホセ・ヴァスケス・スキアフィノより信任状ならびに前任者の解任状を御受領）
- 11・10 宮城【御政務】（枢密院会議に御臨席、議題「皇室裁判令案」「王公家軌範案」。宮内次官関屋貞三郎賜謁）
- 11・10 赤坂離宮御苑【摂政。御臨場（観菊会）】（東宮仮御所より自動車にて衆芳亭へ御成。高松宮ほか皇族に御対顔。広芝・上御茶屋御巡覧。この日、天皇の御容体に鑑み、佐賀県下特別大演習摂政行啓御取止）
- 11・12 旧軍艦三笠【皇太子。御臨席（三笠保存記念式）】東宮仮御所へ東京駅へ横須賀駅へ旧軍艦三笠（高松宮に御対顔。艦内御巡覧。甲板にて博恭王はじめ旧乗組士官等と記念撮影、元帥東郷平八郎と記念撮影。横須賀鎮守府司令長官海軍中将加藤寛治より三笠保存工事につき奏上御聴取。海軍大臣海軍大将財部彪・三笠保存会会長阪谷芳郎・同名学生会長東郷平八郎よりそれぞれ祝詞御聴取）へ海軍機関学校（保存会関係者と御昼餐御会食。財部海相および加藤長官よりそれぞれ万歳三唱をお受けになる）へ横須賀駅（葉山御用邸へ）
- 11・12 葉山御用邸【皇太子。御見舞（天皇）・御対顔（皇后）】（即日還啓）
- 11・17 宮城【御政務】（枢密顧問官へ定例賜謁）
- 11・18 葉山御用邸【皇太子。御見舞（天皇）・御対顔（皇后）】（即日還啓）
- 11・23 神嘉殿【宮中三殿】【摂政。御拝礼・御告文（新嘗祭夕儀）】（翌11・24 晝儀御拝礼）
- 11・24 宮城【御政務】（枢密顧問官へ定例賜謁）
- 11・25 海軍大学校【摂政。御臨場（海軍大学校・海軍軍医学校卒業式）】（海軍大学校長海軍中将大谷幸四郎ならびに海軍軍医学校長海軍軍医少将小川竜より各々卒業式に関する書類御受領。作業場にてユトランド海戦の兵棋演習御覧。卒業式に臨まれ、優等卒業生に賞を賜う）
- 11・25 海軍省【摂政。御会食（御昼餐）】（御立寄。海軍艦政本部長海軍中将吉川安平ほか二名に賜謁。海軍大臣海軍大将財部彪より新艦型につき御聴取。博恭王と御昼餐御会食、東郷元帥・財部海軍大臣・一木宮内大臣ほか三十六名に御陪食を賜う）
- 11・26 日本赤十字社【皇太子。御巡覧（参考館）】（十二月四日の開館式を前に御訪問。日本赤十字社社長平山成信等の説明により参考館の陳列品、図書室・講堂等御巡覧）
- 11・28 葉山御用邸【皇太子。御見舞（天皇）・御対顔（皇后）】（皇太子妃御同列。即日還啓）
- 11・29 宮城【御政務】（皇族会議に御臨席・御統理、議題「皇室裁判令案」「勲一等博信王殿下二家名ヲ賜ヒ華族ニ列セラルルノ件」。この日、御参内御出門時に、赤坂離宮正門前にて直訴未遂事件あり）
- 12・1 宮城【御政務】（陸軍次官陸軍中将畑英太郎ほか各師団司令部附少将等二十名に賜謁。欧米へ出発または帰朝の特命全権公使杉村陽太郎ほか五名に賜謁、続いて今般欧米へ出発または帰朝の陸軍少将杉山元ほか四名に賜謁。博信王臣籍降下につき朝見ノ儀を行われる。枢密顧問官に定例賜謁）
- 12・7 陸軍大学校【摂政。御臨場（卒業式）】（教育上に関する事項につき陸軍大学校長陸軍中将金谷範三の言上御聴取並びに同書類御受領。講堂にて第三学年学生陸軍歩兵大尉後藤光蔵の講演を御聴取。兵学教官による図上戦術を御覧。卒業式に臨まれ、優等卒業生に賞を賜う）

- 12・7 参謀本部【摂政。御会食（御昼餐）】（御立寄。参謀総長陸軍大将鈴木
 莊六より管下事務につき御聴取および地圖御受領。行啓御取止の本年陸軍特
 別大演習の活動写真御覧。載仁親王・邦彦王・守正王・恒憲王・李王垠と御
 昼餐御会食、元帥奥保鞏・同上原勇作等に御陪食を賜う）
- 12・8 宮城【御政務】（米国大使館附海軍武官海軍中佐ジョージ・マツコール
 ・コーツを御引見になる。枢密顧問官に定例賜謁）
- 12・10 宮城【御政務】（侯爵華頂博信へ帰嫁につき載仁親王第五女子華子女王
 の朝見ノ儀を御挙行）
- 12・11 葉山御用邸附属邸【皇太子。御見舞（天皇）・御対顔（皇后）】（皇太子
 妃御同列。即日還啓）
- 12・12 皇靈殿（宮中三殿）【摂政。御拝礼（光格天皇例祭）】（この日、葉山御
 用邸へ御差遣の東宮侍従長入江為守より復命を御聴取になり、明日一泊の御
 予定にて皇太子妃と御同列にて葉山行啓を仰せ出される）
- 12・13 葉山御用邸附属邸【皇太子。御看護（天皇）・御見舞（皇后）】（
 12・27還幸）
- 12・13 東宮仮御所（東京駅）逗子駅（葉山御用邸附属邸（天皇の御看護）
 ）葉山御用邸本邸【御泊】（12・26。皇太子妃御同列。この日、御看護に
 参邸の高松宮・崇仁親王に御対顔。御泊は葉山御用邸本邸）
- 12・14 葉山御用邸本邸（葉山御用邸附属邸（天皇の御看護））葉山御用邸
 本邸（午後、一時御帰邸）（葉山御用邸附属邸（天皇の御看護））葉山御
 用邸本邸（この日、還啓の御予定を当分の間御滞在と御変更）
- 12・15 葉山御用邸本邸（昌子内親王・房子内親王に御対顔。元東宮武官加
 藤隆義に賜謁）（葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。天皇の御看護）
 ）葉山御用邸本邸（高松宮に御対顔）（葉山御用邸附属邸（葉山御用邸本
 邸）（この日、天皇御平癒祈願のため皇后御使として皇后宮事務官三条公輝を、
 皇太子同妃御使として東宮侍従牧野貞亮をそれぞれ神宮へ御差遣）
- 12・16 葉山御用邸本邸（東宮大夫珍田捨巳および東宮侍従長入江為守に賜

- 謁）（葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。天皇の御看護。天皇御重
 体につき、皇族・王族等参邸、天皇に拝謁）（葉山御用邸本邸
- 12・17 葉山御用邸本邸（葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。天皇の
 御看護））葉山御用邸本邸（午後、一時御帰邸）（葉山御用邸附属邸（皇
 太子妃と共に参邸。天皇の御看護））葉山御用邸本邸（夕刻、一時御帰邸）
 ）葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。天皇の御看護））葉山御用邸
 本邸（御帰邸後、東宮侍従長入江為守を附属邸へ御差遣。この日、成子内
 親王参邸）
- 12・18 葉山御用邸本邸（葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。終日天
 皇の御看護。皇太子妃は徹夜御看護））葉山御用邸本邸
- 12・19 葉山御用邸本邸（葉山御用邸附属邸（早朝帰邸の皇太子妃と共に参
 邸。天皇の御看護。成子内親王御見舞の後御帰京））葉山御用邸本邸（午
 後、一時御帰邸）（葉山御用邸附属邸（葉山御用邸本邸（夕刻、一時御帰邸）
 ）葉山御用邸附属邸（葉山御用邸本邸
- 12・20 葉山御用邸本邸（葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。天皇の
 御看護））葉山御用邸本邸（夕刻、一時御帰邸。一木宮内大臣に賜謁）（
 葉山御用邸附属邸（葉山御用邸本邸
- 12・21 葉山御用邸本邸（参邸の内閣総理大臣若槻礼次郎および枢密院議長
 倉富勇三郎に賜謁）（葉山御用邸附属邸（皇太子妃・高松宮と共に参邸。
 天皇の御看護））葉山御用邸本邸（正午、一時御帰邸）（葉山御用邸附属
 邸（葉山御用邸本邸（夕刻、一時御帰邸））葉山御用邸附属邸（葉山御用
 邸本邸
- 12・22 葉山御用邸本邸（侍医の進言にて、健康御維持のため皇太子妃と共
 に南庭御散歩）（葉山御用邸附属邸（皇太子妃と共に参邸。天皇の御看護）
 ）葉山御用邸本邸（正午、一時御帰邸）（葉山御用邸附属邸（御夕餐も同
 附属邸。皇太子妃は附属邸に御泊））葉山御用邸本邸
- 12・23 葉山御用邸本邸（葉山御用邸附属邸（早朝御帰邸の皇太子妃と共に

参邸。天皇の御看護) 葉山御用邸本邸(夕刻、一時御帰邸。天皇御容体悪化につき急ぎ附属邸へ) 葉山御用邸附属邸 葉山御用邸本邸

12・24 葉山御用邸本邸 葉山御用邸附属邸(皇太子妃と共に参邸。天皇の御看護) 葉山御用邸本邸(昼、一時御帰邸) 葉山御用邸附属邸(天皇御容体悪化。この日、第五十二回帝国議会開院式につき明日御帰京御予定のところ、午後にいたり御取止)

12・25 葉山御用邸附属邸(前日より御滞在御看護。午前一時二十五分天皇崩御。葉山御用邸附属邸謁見所において劍璽渡御ノ儀を行われ、踐祚ノ式を済ませられる) 葉山御用邸本邸

12・26 葉山御用邸本邸 葉山御用邸附属邸(皇后御同列。大行天皇御尊骸御拜、皇太后に御対顔) 葉山御用邸本邸 葉山御用邸附属邸(御舟入の儀) 葉山御用邸本邸(皇太后御扈從にて大行天皇御靈柩の附属邸より本邸への奉遷を皇后と共に御奉迎。御靈柩奉安)

12・27 葉山御用邸本邸(皇后と共に御出門) 逗子駅 東京駅 宮城(劍璽奉安。後刻御帰着の大行天皇御靈柩および皇太后を御奉迎) 東宮仮御所(還幸)

(丁)

(附記) 本稿の項目選定および記述は、執筆者個人の見解に基づくものであって、宮内庁の公式見解ではありません。